

第95回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日 時 令和7年3月10日（月）14:00～15:15
場 所 国立歴史民俗博物館 大会議室 及び Zoom会議
出 席 者〔館外運営会議委員〕
市澤委員（副議長）、江村委員、小畑委員（Zoom）、木川委員（Zoom）坂上委員、
鈴木（淳）委員（Zoom）、徳丸委員（Zoom）、山田（賢）委員
〔館内運営会議委員〕
山田委員（議長）、内田委員、小倉委員、坂本委員、鈴木（卓）委員、大久保委員、
関沢委員（Zoom）、高田委員、林部委員
欠 席 者 梅崎委員、Batten委員、村上委員、三上委員
陪 席 者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
広報課長、総務企画係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

続いて、事務局から、定足数の説明があり、出席委員17名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議 事

（1）前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき、前回（令和6年12月5日開催 第94回国立歴史民俗博物館運営会議）議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

（2）審議事項

①教員公募要項案について

- ・日本中世史准教授

山田議長から発議があり、坂上教員候補者選考委員会委員長から、資料2に基づき、教員公募要項（日本中世史）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②名誉教授の選考について

山田議長から発議があり、大久保委員については、本議題の審議対象のため、一時退席して審議をする旨、説明があった。

大久保純一教授の名誉教授の選考について、西谷館長から略歴について説明があった後、坂上教員候補者選考委員会委員長から候補者の功績等について、資料3-1に基づき説明があった。

事務局から、票決数の確認が行われた後、Zoomの投票機能による投票が行われ、投票の結果、大久保純一教授への名誉教授称号授与が承認された。

次いで、仁藤敦史教授の名誉教授の選考について、西谷館長から略歴について説明があった後、坂上教員候補者選考委員会委員長から候補者の功績等について、資料3-2に基づき説明があった。

Zoomの投票機能による投票が行われ、投票の結果、仁藤敦史教授への名誉教授称号授与が承認された。

次いで、故松木武彦教授の名誉教授の選考について、西谷館長から略歴について説明があった後、坂上教員候補者選考委員会委員長から候補者の功績等について、資料3-3に基づき説明があった。

Zoomの投票機能による投票が行われ、投票の結果、故松木武彦教授への名誉教授称号授与が承認された。

(3) 報告事項

①教員候補者選考委員会報告

- ・令和7年度客員教員の採用について

坂上教員候補者選考委員会委員長から、資料4に基づき、令和7年度客員教員について、継続2名、新規2名の計4名の採用について、報告があった。

- ・令和7年度特別客員教員の委嘱について

坂上教員候補者選考委員会委員長から、資料5に基づき、令和7年度特別客員教員について、継続3名、新規2名の計5名の委嘱について、報告があった。

- ・令和6年度非常勤研究員の採用について

坂上教員候補者選考委員会委員長から、資料6に基づき、令和6年度非常勤研究員1名の採用について、報告があった。

②資料収集委員会報告

- ・令和5年度受入資料について

市澤資料収集委員会委員長から、資料7に基づき、令和5年度に受け入れた資料について報告があった。

③歴博の活動状況について

山田議長から、資料8に基づき、歴博の活動状況について報告があった。

(4) その他

①令和7年度執行部について

山田議長から、資料9に基づき、令和7年度執行部について報告があった。

(5) 館長挨拶

名誉教授の称号授与が承認された大久保純一教授、仁藤敦史教授、故松木武彦教授の功績に対し、謝辞が述べられ、歴博への多大な貢献があったことについて発言があった。